

医療安全管理部

■ スタッフ

部長（教授・医師）	兼児 敏浩
副部長・GRM（講師・医師・専任）	飯澤 祐介
副部長・看護師長・GRM（専従）	達村 真理子
副看護師長・GRM（専従）	市川 裕美
看護師・GRM（専従）	寺尾 知紗
看護師・GRM（専従）	森 多佳美
薬剤師・GRM（助教・専従）	佐々木 典子
薬剤師・GRM（専従）	高倉 歩美
手術部副部長（兼任）	大井 正貴
医薬品安全管理責任者（兼任）	岩本 卓也
医療機器安全管理責任者（兼任）	山田 昌子
医療放射線安全管理担当者（兼任）	山田 剛

事務職員

国方 かおる

■ 医療安全管理部の特色

平成14年4月に設置された安全管理部と平成19年4月に設置された感染制御部が平成22年4月から発展統合し医療安全・感染管理部となりました。その後、更なる発展のため、平成29年4月には再び、感染部門と分離し、医療安全管理部（Department of Patient Safety）となり現在に至っています。

医療安全管理部は直接診療を行う部署ではありませんが、医療安全対策等を通して、患者の皆様が安心して受けていただける『良質な医療』の提供を目指して活動しています。

1. 医療安全部門

1) 業務体制

医療安全部門は部長と7人のGRMの他に兼任の医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床工学技士、事務部の協力を得て活動を行っています。各部署より提出されるインシデント報告を解析し、時に現場で検証を行い、ヒヤリ体験が事故につながらないようなシステムの改善を提案します。また、全職員を対象とした職員研修を年2回以上開催するなど、職員に対する安全教育も実施しています。

2) 業務内容

・「インシデントレポート」の収集・分析および事故防止対策の立案・周知に関すること。

- ・医療事故防止に係わる病院内の巡視・点検・評価に関すること。
- ・医療事故防止に係わる業務改善の提言・指導に関すること。
- ・安全管理に係わる教育・研修・啓発に関すること。
- ・医療事故防止対策マニュアルに関すること。
リスクマネージャー会議に関すること。
- ・他施設における医療事故調査委員会への外部委員としての参加。
- ・未承認新規医薬品・医療機器や高難度新規医療技術を用いた医療の提供体制に関すること。

3) 業務報告

- ・リスクマネジメントマニュアル 11.2版 改訂
- ・令和5年度インシデント報告件数 5,564件
(うち、医師・歯科医師・研修医 450件)

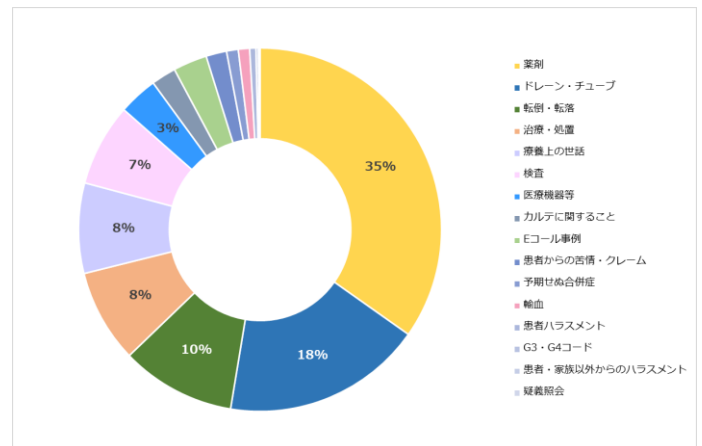


図1. 2023年度インシデント報告（分類別）

インシデントレポートの内訳：当院においても全国的傾向と同様に薬剤に関係するインシデントが最も多く報告されます。当院では薬剤師を専従GRMとして配置し、インシデントが事故に繋がらないための対策を積極的に行っています。

- 学会活動：医療の質・安全学会、日本医療マネジメント学会、日本医療・病院管理学会、日本公衆衛学会、日本臨床倫理学会など
- その他：他施設の医療安全講演会講師など 「患者さんも職員もハッピー」が当部署のめざすところですが、そのためには院内だけではなく、地域全体の医療機関と連携していく必要があります。三重大学病院の医療安全管理部としての活動だけでなく、三重県全体に貢献できるような活動をめざしていきます。

https://www.hosp.mie-u.ac.jp/bumon/iryo_anzen/